

別 紙

5 上記教育訓練が、キャリアアップに資すると考える理由

訓練の目的	内容	キャリアアップに資すると考える理由
入職時研修	あいさつ等をはじめとするビジネスマナー、職務遂行でさしあたり直面するであろう問題に対しての連絡・報告等の対処方法についての訓練	他者と交わりながら日常業務をこなすうえで必要な知識を身に付けることで派遣先での順応・人間関係の構築、ひいては円滑な業務遂行につながり、各自の長期的なキャリアを形成するに資する訓練であると考え。
職能別訓練 施工管理	関係法令、建築技術、施工管理等を確認・学習する。	刻々と改正される建設業法並びに関係諸法令について学んだり、新しい工法や技術、環境対策等を学ぶことで、業務に当たるうえで必要となる知識を更新・維持することができキャリアアップに資すると考える。
階層別訓練 リーダー研修	現場指導統率力アップを目指したスキル・心構えについて学ぶ。	配属プロジェクトのリーダーとして現場での計画的業務進行をめざし全体の能率化に対する意識形成が各自のキャリアアップに資すると考える。

7 上記6の実施にあたってどのようなことを考慮しているのかを具体的に記載すること

中長期的なキャリア形成のため職能別訓練において最終的には後進育成スキルの習得、希望する者に対しては関連資格取得を支援するプログラムを計画し、階層別訓練では職能別訓練とリンクして身に付けたスキルや業務遂行・問題解決方法を活かし指導監督能力のみならず現場内で慕われる良好な人間関係構築できるようそれぞれ考慮している。